

会議録要旨

(1) 会議の名称	第1回越前市環境審議会委員会
(2) 開催日時	令和6年1月31日（水曜日）午前10時～正午
(3) 開催場所	市民プラザたけふ4階 多目的ホール
(4) 出席委員氏名	奥村委員 右原委員 土田委員 小林委員（代理 倉谷氏） 川端委員 岡部委員 田淵委員 原 委員 山口委員 吉田委員
(5) 欠席委員氏名	西出委員 河野委員 柳川委員 土本委員 川崎委員 酒井委員 磯野委員 操上委員
(6) 出席所管課職員職氏名	環境農林部 部長 川崎 環境政策課 課長 小池、副課長 山田、主査 中條、 主事 澤崎 農政課 課長 高木
(7) 会議議題	(1) 令和5年度の市の脱炭素の取組みについて (2) 令和5年版環境白書について (3) 環境基本計画具体的目標の進捗状況について
(8) 傍聴者の数	2人
(9) 会議資料の名称	(1) 【資料1】市の脱炭素の取組みについて (2) 【令和5年版環境白書】 【資料2】令和5年版環境白書 自然環境（第8章） (3) 【資料3】令和4年度具体的な指標の達成状況
(10) 会議の内容の要旨	(1) 令和5年度の市の脱炭素の取組みについて、事務局より説明 ≪意見≫ ・脱炭素先行地域に関して、昨年環境審議会にて地域選定に向けて取り組みを進めていると報告をもらっている。このことについて進捗状況を聞かせてほしい。 ⇒昨年度の第3回募集、今年度の第4回募集いずれも応募したが選定されなかった。 ・J-クレジット創出のために水田において中干し期間の延長があったが、生物多様性を謳う有機農業の考え方と反する

のではないかと。折り合いはつくのか。

⇒実施する場所を分け、作業面積として有機農業は2050年までに市全体の25%、残りの75%の慣行農業においてJ-クレジット創出の取組みを行うというように住み分けを考えている。

・公共施設の屋根に太陽光発電設備の設置が進んでいないように思う。環境主管部局として、脱炭素事業推進の力強い後押しをしてほしい。

(2) 令和5年版環境白書について、第2章～第11章を事務局より報告・説明

《意見》

・環境白書P15～16について、実情として河川水質は特段悪化したと認識はないが、表記上令和4年度の河川水質の数値が大きく悪化しているように見える。採水分析のタイミングや統計方法は適切なものか。

⇒水質検査は隔月実施で、数値は年間平均である。年間を通じて水質が悪かったわけではないが、令和4年8月の豪雨災害の影響が長期に渡り、平均しても浮遊物質(S S)や大腸菌数の数値が大きくなった。今後は、必要以上に悪い印象を与えないよう採水タイミングについて都度検討するよう改める。

・越前市はオーガニックビレッジ全国集会で報告を行ったように全国的に見ても先進的な有機農業に取り組む自治体であると認識している。環境白書の記載としてさらに充実させると良いと思う。

・森林・林業マスタープランについて、力を入れて取り組んでいるところと思うが、環境白書に記載すると良いと思う。

(3) 環境基本計画具体的目標の進捗状況及び目標値の一部変更について、事務局より説明

《意見》

・指標の目標値の変更について、社会情勢の変化の中で、都度見直しが必要であると思う。目標値の具体的な変更について、次回の環境審議会で審議するよう事務局で準備を進めてほしい。

(11) その他	—
----------	---